



第48回近畿地区高等学校PTA連合会大会

滋賀大会へ行って来ました！

↑信楽高校の生徒さんが描いた大会イラスト



7月1日（土）校長先生と本部役員5名で、近畿地区高等学校PTA連合会大会へ出席してきました。今年の開催地は滋賀県の草津でした。

朝から大人の小旅行の始まりです♪お喋りに花が弾み、移動時間もあっという間でした。

会場に到着すると、地元の守山高等学校吹奏楽部によるウェルカムパフォーマンスの演奏があり、会場は和やかな雰囲気になりました。



今大会のテーマである、～みんなで考えよう！「PTAのこれから」～

について、ドイツ在住のジャーナリスト、高松平蔵さんが「ドイツからの眼差し」

という視点で、ドイツの「学校と生徒、保護者の繋がり方」などをお話しされました。

また、昼食をはさんだ後のPTA代表によるシンポジウムでは、小中学校でPTAが少なくなっている現状が増えている中、本来PTAとは子供の学校生活をよりよいものにするためのものであり、「子供のために」が前提となるべきが、「役員に当たったらどうしよう」という負のイメージが強くなっていることへの心配をされていました。

壇上へ上がっていた方自身も、「実は私も最初は断りました。人前に出るような人間ではありませんでした。でも、子供達のために皆で活動する事の楽しさを知り、いい年齢になった今でも、PTAの活動を通して新しい友人、飲み仲間ができたことを嬉しく思っています。」と言われていたのが印象的でした。

そして何度も言うておられた「**まずは自分自身がPTA活動を楽しむ。**」この言葉にすべてが詰まっていると感じました。その活動は子供たちへと繋がります。

私たち役員もこの出会いを大切に、北須磨生のより良い学校生活のために、今後も楽しんで活動して行きます！



昼食後にあった、伊吹高等学校書道部による書道パフォーマンス。感動しました！今後も子供達の発表の場がどんどん増えますように。



琵琶湖よし笛とギターの演奏。ご夫婦で奏でる素敵な生演奏を聴きながら会場を後に…曲はサライ♪来年は京都で開催！

